

様式 7

入札監視委員会定例会議議事概要

| | | |
|----------------------------|--|--|
| 開催日及び場所 | 平成30年7月12日(木) 島根大学本部棟1階第一会議室 | |
| 委員 | 委員長 野田 素三子 (行政書士) 委員 深田 拓慶 (公認会計士・税理士) 委員 福島 薫 (弁護士) | |
| 審議対象期間 | 平成29年4月1日～平成30年3月31日 | |
| 抽出案件(合計) | 6件 | (備考) |
| 工事(小計) | 5件 | <p>・今回の審議対象期間においては、再苦情の申立て及び同審議依頼はなし。</p> <p>・抽出案件の審議については、担当者から説明を行い、質問等への回答を行った。</p> |
| 一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事) | 1件 | |
| 一般競争入札 (上記工事を除く) | 5件 | |
| 工事希望型競争入札 | 1件 | |
| 通常指名競争入札 | 1件 | |
| 随意契約 | 1件 | |
| 設計・コンサルティング業務(小計) | 1件 | |
| 公募型プロポーザル方式 | 1件 | |
| 簡易公募型プロポーザル方式 | 1件 | |
| 簡易公募型プロポーザル方式(拡大) | 1件 | |
| 標準型プロポーザル方式 | 1件 | |
| 一般競争入札 | 1件 | |
| 随意契約 | 1件 | |
| 委員からの意見・質問、 それに対する回答等 | 意見・質問 | 回答 |
| | 別紙のとおり | 別紙のとおり |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | なし | |

※ 委員からの意見・質問、それに対する回答等はできるだけ詳細に記入すること。

別 紙

| 質 問 | 回 答 |
|--|---|
| <p>1. 国立大学法人島根大学において発注した建設工事について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料3 工事種別ごとの再度入札における一位不動状況について、本年度工事においてはすべてが一位不動となっているが、今回の抽出案件では、2回目の入札で1位の業者以外が辞退となり、必然的に不動となったと見受けられるが、他の案件でも同じことが言えるのか。 <p>2. 国立大学法人島根大学において発注した設計・コンサルティング業務について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>3. 指名停止等の措置について (施設企画課より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>4. 審議対象工事及び設計・コンサルティング業務結果務の抽出について (福島委員より説明)</p> <p>※今回は工事又はコンサルティング業務ごとに同様の入札方式となる傾向にあった。特に設計コンサルティング業務については、全ての案件が随意契約であったことから、抽出は工事5件、コンサルティング業務1件とし、工事については、総合評価落札方式の3件と、最も落札率の低い工事1件のほか、これらと工事種別の異なるものとして、電気工事を1件抽出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし | <ul style="list-style-type: none"> ・すべての案件において2回目で1者以外が辞退となるわけではなく、段階的に辞退していく案件もあった。 |

| | |
|--|---|
| <p>5. 建設工事及び設計・コンサルティング業務における抽出案件の審議 (施設企画課より工事概要について説明)</p> <p>(1) 一般競争入札方式(総合評価落札方式(実績評価型)) 【(川津)ライフライン再生(給水設備等)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この工事は、井戸水の汲み上げから送水までの設備を更新するものか。 ・井戸水は飲料水ではなく、トイレの洗浄水などとして利用しているのか。 ・老朽化に伴う更新工事と思われるが、今後も続けて更新していくのか。 ・参加資格等級の決定に係る、予定価格の想定は、公告時点で1億円未満と判断していたとあるが、実際の予定価格は1億円以上となっている。これは、消費税を加えたために1億円以上となったのか。 ・予定価格は公告の時点で確定しているか。 ・予定価格が概算金額を超えることは頻繁に起こるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・井戸から汲み上げて処理を行った水を送水する配管の更新と集中検針装置の整備である。 ・松江キャンパス(川津団地)では飲料水として利用している。 ・本工事の配管は、配置図の対象建物だけのものではなく、松江キャンパス全体をまかなう基幹配管を更新するものである。 ・予定価格の想定は消費税込みでの価格であり、本工事においては積み上げた結果が、1億円を若干超える結果となった。 ・公告の段階では予定価格は確定しておらず、概算であるが、公告時点で設計図を配布するので概算金額から大きくは変わらない。 ・昨今は市場価格の変動が激しく、資材の価格が予定価格に影響を与える場合がある。 |
|--|---|

| | |
|--|---|
| <p>(2) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【(塩冶)ライフライン再生(実験排水設備)工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格に必要な実績について、排水設備に特化されているよううかがえるが、給水設備と分ける必要あるのか。 ・入札結果について、審議案件1については2回の入札で打ちきり、不落随契となっており、案件2については5回の電子入札での落札となっているが、入札の進め方についてどのような違いがあったのか。 ・電子入札を継続する場合と、大学での聞き取りによる不落随契を行う場合とでは、業者の負担はどちらが大きいのか。また、複数回の入札による、入札書の入れ忘れなどの懸念はないのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・工事の内容から、求める実績として排水設備と表記しているが、給水設備としての実績で申請があれば許可している。 ・入札の打ち切りか継続については、予定価格と入札金額の差によって左右される場合が多く、予定価格との差が大きい場合には、直接聞き取りを行い、随意契約に至っているのが現状である。 ・大学での聞き取りであれば、出雲地区の応札業者の場合、移動の時間を伴うが、電子入札であれば移動は不要である。入札書の入れ忘れについては、1者になった時点で開札前に入札の有無について電話等で確認を取るようになっている。 |
| <p>(3) 一般競争入札方式（総合評価落札方式（実績評価型）） 【(川津)人間科学部（教育学部校舎等）改修工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者入札となっているが、工事項目ごとに分離発注するなどの検討は行ったか。 ・発注時期の遅れがあったようだが、理由はあるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一連の移転計画であるため、困難であった。昇降機棟新営については、分離発注も検討したが、公共工事の発注状況から、応札者が僅少である可能性があり、包含発注とした。 ・設計時のヒアリングに時間を要したため、発注時期が遅れる結果となった。 |

| | |
|---|--|
| <p><u>(4) 一般競争入札方式（最低価格落札方式）</u> 【(塩冶) R I ・動物実験施設南側他駐車場整備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本工事は道路工事が主となっているが、参加業者の中に、浚渫工事を実績として挙げているものがあるが、実績とみなしても良いのか。 ・低い落札率での落札であるが、低入札案件に該当しないのか。 ・落札業者の金額は他社と比べ特に低い金額であるが、その理由は何が考えられるのか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・浚渫工事という表現ではあるが、舗装等複数の工事を含むものとして、申請を許可した。 ・最低価格の設定は予定価格が2千万円を超えるものが該当するため、本件は該当しない。 ・自社での施工とすることで、下請業者を使う必要が無いため、経費を抑えられていることが考えられる。 |
| <p><u>(5) 一般競争入札（最低価格落札方式）</u> 【(塩冶)学童保育施設新営その他電気設備工事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 | |
| <p><u>(6) 随意契約</u> 【(川津)人間科学部（教育学部校舎等）改修設計業務（建築）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積徴収をした2者について、選定理由は何か。 | <ul style="list-style-type: none"> ・当該工事が3年工事の2期目であるため、前年に設計を依頼した業者と、履行期間に業務が可能な業者を選定した。 |